

“認知症”ではないかと心配している方が いらした時は…

職場に認知症ではないかと心配している方がいらっしゃったら、企業などの産業医に相談してください。また、認知症の診断に当たっては、認知症疾患医療センターなどの専門医療機関を受診するよう勧めてください。

埼玉県では若年性認知症の相談・支援窓口を設置していますので、まずは御連絡ください。

相談機関

○埼玉県若年性認知症サポートセンター

※ 若年性認知症支援コーディネーターが
相談対応と支援を行います。

電話 048-814-1212

FAX 048-814-1211

月～金（年末年始・祝日除く）

9：00～16：00

〔公益社団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部〕

○若年性認知症コールセンター（全国）

電話 0800-100-2707

月～土（年末年始・祝日除く）

10：00～15：00

<http://y-ninchisyotel.net/>

〔社会福祉法人仁至会

認知症介護研究・研修大府センター〕

地域包括支援センター

認知症の身近な相談窓口には、各市町村に設置されている地域包括支援センターがあります。

地域包括支援センターの一覧については、以下の県ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/houkatsu.html>

認知症疾患医療センター

認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置されています。

主な業務は次のとおりです。

- (1) 専門医療相談（電話・面談）
 - (2) 鑑別診断とそれに基づく初期対応
 - (3) 身体合併症、行動・心理症状への急性期対応
- 受診には予約が必要ですので、あらかじめお問い合わせください。

認知症疾患医療センターに指定されている医療機関

○埼玉精神神経センター 電話 048-857-6817
（〒338-8577 さいたま市中央区本町東6-11-1）

○つむぎ診療所 電話 0494-22-9366
（〒368-0056 秩父市寺尾1404）

○武里病院 電話 0120-8343-56
（〒344-0036 春日部市下大増新田9-3）

○西熊谷病院 電話 048-599-0930
（〒360-0816 熊谷市石原572）

○丸木記念福祉メディカルセンター
電話 049-276-1486
（〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38）

○戸田病院 電話 048-433-0090
（〒335-0026 戸田市新曾南3-4-25）

○埼玉県済生会鴻巣病院 電話 048-501-7191
（〒365-0073 鴻巣市八幡田849）

○菅野病院 電話 048-464-6655
（〒351-0114 和光市本町28-3）

○あさひ病院 電話 04-2957-1202
（〒350-1317 狭山市水野592）

○久喜すずのき病院 電話 0480-23-3300
（〒346-0024 久喜市北青柳1366-1）

このリーフレットについてのお問合せは、
埼玉県福祉部地域包括ケア課

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048(830)3251

FAX 048(830)4781

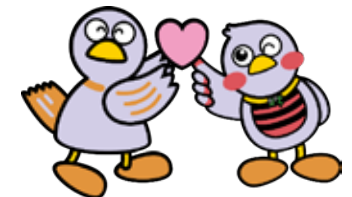


介護マーク

外出先でこのマークを見たら
暖かく見守ってください。

仕事上のトラブルも、 もしかしたら

“若年性認知症” が原因かもしれません



埼玉県のマスコット コバトン・さいたまっち

令和3年3月

埼玉県福祉部地域包括ケア課



“認知症”は高齢者だけの病気ではありません

認知症は、65歳未満の方にも発症するのをご存知ですか？これを「若年性認知症」と言います。

若年性認知症を発症する平均の年齢は概ね54歳と推定されています。[※] ちょうど組織の中核として、一家の働き手として重要な時期に当たります。しかし、認知症が原因の仕事上のトラブルやうつ状態を、ストレスや年齢のためと感じて見過ごしたり、他の病気と勘違いしてしまうこともあります。

もしかしたら、仕事上のトラブルの中には、認知症が原因のものもあるかもしれません。そして、本人も周囲も悩んでいるかもしれません。

※日本医療研究開発機構認知症研究開発事業による「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多面的データ共有システムの開発」(令和2年3月)

大切な早期発見・早期治療、就労継続

◎ 早期発見・早期治療

多くの場合は、認知症を治すことは困難です。しかし、早期に治療を開始することにより、病気の進行を遅らせたり、症状を改善したりすることができることもあります。

また、早期に診断を受けることで、本人や家族は今後の人生設計を考えることができたり、様々なサービスを早い段階から受けたりすることができます。

◎ 就労継続

就労継続に当たっては、企業が配置換え等の合理的配慮を提供し、働く環境を整えることが重要となります。

埼玉障害者職業センターでは、企業が行う環境調整や職務設定等に対する助言、ジョブコーチによる専門的支援など、企業に対する支援を行っています。

就労に関する支援機関

○ 埼玉障害者職業センター

<http://www.jeed.or.jp/location/chiki/saitama/>

○ 埼玉県内の障害者就業・生活支援センター

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0809/syougai-map/syougai09-03.html>

○ 埼玉ハローワーク

<http://jsite.mhlw.go.jp/saitama-helloworld/>

早期発見のために～認知症のチェックリスト～

認知症の発症初期の症状は、原因となる病気により異なり個人差もありますが、次のチェックリストにある兆候が見られることが多いです。

これらの項目に当てはまる場合でも、必ずしも認知症というわけではありません。

気になる点がある方には、企業などの産業医に相談をしたり、専門の医療機関を受診するよう勧めただけであれば、認知症の早期発見につながります。

認知症のチェックリスト

- 1 同じことを何度も質問するようになった。
- 2 少し前の確認事項や約束を忘れることが多くなった。
- 3 電話で上手く対応しているが、電話を終えると内容を忘れてしまっている。
- 4 大事なものを忘れたり、失くしたりすることが多くなった。
- 5 知っているはずの人の顔や名前を間違えるようになった。
- 6 約束の場所を間違えたり迷ったりするようになった。
- 7 何度も時計を確認しているが、約束の時間を間違えることがある。
- 8 指示されたことや書類の内容が理解できないことが多くなった。
- 9 メモを取っているが、メモを見ても内容を思い出せないことがある。
- 10 使い慣れている機器の操作に戸惑うようになった。
- 11 会議や打合せで話についていけないことがある。
- 12 仕事の段取りが悪くなった。
- 13 仕事の効率が悪くなり残業が増えた。
- 14 作業に手間取り、ミスが目立つようになった。
- 15 簡単な言葉が思い出せなくて“あれ”、“それ”と言うことが多くなった。
- 16 その場にそぐわない言動をして、周囲の人が驚くことがある。

※ このチェックリストは、埼玉県若年性認知症支援コーディネーターが監修して作成しました。

認知症を引き起こす主な病気

認知症は様々な病気によって引き起こされます。その主なものと初期の症状は次のとおりです。

病気により治療方法は異なるため専門医の確定診断が重要です。

アルツハイマー型認知症

脳の中にβアミロイドというたんぱく質が蓄積することで脳の細胞が死んでしまうことにより発症します。新しいことを覚えることが難しくなります。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害で起こる認知症です。初期から歩行障害などの身体的機能の障害を伴うことが多いのが特徴です。

レビー小体型認知症

脳の中にレビー小体というたんぱく質が蓄積することにより発症します。記憶障害のほか、幻視やうつを伴うことが多いのが特徴です。また、手足の震えなどのパーキンソン病のような症状が見られることもあります。

前頭側頭型認知症(ピック病など)

脳の前頭葉と側頭葉が委縮することにより発症します。性格が変わったようになり、同じ行動を繰り返したり、抑制のきかない行動がみられることもあります。

認知症を知るために～認知症サポーター養成講座～

認知症の早期発見のためには、多くの人に認知症について知っていただく必要があります。そのために、職場やお住まいの地域で「認知症サポーター養成講座」を開催してみたいかをご紹介します。

認知症サポーター養成講座は、認知症の人と家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域で見守る応援者を養成するものです。60分～90分間の講座で認知症の基礎知識や支援方法等について学ぶことができ、社会貢献の一環として多くの企業や団体がこの講座を開催しています。

詳しくは、埼玉県ホームページ「認知症サポーター養成講座について」をご覧ください。

URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/kyaravan/supporterindex.html>



認知症サポーター養成講座受講者にお渡しする「認知症サポーター証」